

# 七高SSH通信

R5/7/26  
令和5年度  
第4号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

## マリンサイエンス

7月11日(火)～13日(木)にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において1年生理科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を充分行うことができました。課題研究として海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。じっくりと観察し不思議を見つけ、実験を行ってその現象が起こる仕組みを考える。たった二日間の短い時間ですが、どのグループも集中して、それぞれに納得いく内容に仕上げました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「動物の不思議」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。さらにこの研究については後日七尾高校からリモートで発信し、能都中学校、松波中学校の生徒とも発表会を行いました。

1年生にとっては、初めて宿泊を伴う行事でしたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。



金沢大学環日本海域環境研究センター  
臨海実験施設宿泊棟前にて

### 生徒の感想

- 磯採集では、様々な海の生き物を見つけることができ、生息地もしたのでとても面白かったです。ウニは岩の穴のようなところに隠れていることを初めて知り、驚きました。海中にたくさんいた貝は、調べてみるとたくさんの種類が見つかりました。生物の生態の観察をし、研究を行う過程では、色々なことに疑問を持ち、実験をすることが大事だと思いました。
- 研究は、自分の思った通りにいかないことばかりです。そんな時に、一緒に頑張ってくれる仲間がいることで、諦めずに研究を続けることができるのだと分かりました。
- 生物をよく観察して気になるテーマを見つけるのは難しかったけれど、テーマを決めて、実験を考えたり行ったりするうちに自分たちの予想通りになったり、ならなかったりして、とても大変でしたが、実験の結果から考察して、その生物について知れたときはとてもうれしかったです。

### 研究テーマ一覧

- ・棘皮(きょくひ)動物の極秘(きょくひ)情報
- ・あつまれ!!ヤドカリの海!!
- ・クモヒトデは暗いところが  
お好き!?
- ・イガイと他の貝の意外な浄化能力
- ・スガイのこの動きななぜななぜ?
- ・カニの生態を明らかに!
- ・1番イカしてるイカは?
- ・スポンジポブの体の仕組みをしよう



「スポンジポブの体の仕組みをしよう」